

児童発達支援自己評価 集計結果（事業所）

事業所名 江戸川区鹿本育成室

公表年月日：令和8年2月13日

記入年月日：令和7年11月17日 ～ 12月8日

回答数 17名

回収率 100%

評価項目		はい	いいえ
環境・体制整備	1	100%	0%
	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか		
	<p><工夫していると思う点></p> <p>お子さんの発達や課題に合わせたクラス編成をしています。活動内容等により、小グループになり、活動することもあります。子どもたちが、自分でやってみたいと思えるような環境設定をしています。活動に合わせて流動的に使用できる部屋があり、活用することができています。活動内容や人数によって部屋を区切るなどしています。体を動かして遊ぶ場所、椅子に座って遊ぶ場所を設定し、安全に過ごせるようにしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>お子さんの人数に適した場所やスペースを活用し、環境を活かした活動内容を検討していきます。療育室と併せて、遊戯室や園庭など活動に適した環境を選択しのびのびと活動できるようにしていきます。</p>		
	2	100%	0%
	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか		
	<p><工夫していると思う点></p> <p>状況に合わせて対応しています。保育士や個別療育担当職員を配置しています。個別対応が必要になった時には、対応できるようにしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>保育士と個別療育担当職員を配置し、専門的な支援の継続をしていきます。今後もクラスの状況やこどもの状態に応じて、職員の体制を整えていきます。</p>		
	3	100%	0%
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、発達の特性に応じ情報伝達等の環境上の配慮が適切になされているか		
	<p><工夫していると思う点></p> <p>部屋の共有をしていますが、その都度クラスに合わせた環境を整えています。子ども自身が見て取り組めるように、視覚手掛かりを使うことや踏み台を準備するなどしています。子どもの発達に合わせた支援をしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>子どもにとってわかりやすく、活動しやすい環境を整えていきます。お子さん一人ひとりに合わせた伝達方法を用いて、子ども自身が取り組みたくなるような環境を整えていきます。</p>		
	4	100%	0%
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか		
	<p><工夫していると思う点></p> <p>心地よく過ごせるように、清掃や消毒を徹底し室温や湿度の管理をこまめにおこない、快適で清潔な環境を保っています。</p>		

評価項目			はい	いいえ
環境・体制整備		<p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>自然豊かな環境を活かして、子どもの興味や関心が広がるようにしていきます。お子さんの状態に合わせた環境になっているか見直しをしながら、整えていきます。活動に合わせた療育の場所を選択し、子どもたちがのびのびと活動できるようにしていきます。</p>		
	5	<p>必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>パーソナルスペースを必要とするお子さんには、スペースを設けて落ち着ける空間を準備しています。様子に応じて、体を動かして遊べる空間や落ち着いて遊べるコーナーを設定しています。子どもの様子に合わせた環境を整えるため、パーティション等を利用しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>着替え等必要に応じて、個別の空間を使用しています。今後も状況に合わせて、部屋や場所の検討をおこない使用していきます。</p>	100%	0%
	6	<p>業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>クラス会議や職員会議の中で、療育や行事等についてPDCAサイクルで検討しています。携わった職員が参加できるように体制を整えています。職員会議の中では職員一人ひとりの意見が共有できるように、事前の意見集約等おこなっています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>子どもの発達に合わせた目標設定ができるように、アセスメントをおこない取り組んでいます。PDCAサイクルに基づいた支援の見直しと改善をしています。</p>	100%	0%
業務改善	7	<p>保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>年に一度事業所評価を実施し、いただいたご意見をもとに改善策を検討し、速やかに改善しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>いただいたご意見を真摯に受け止め、原因を分析し、今後の対応策について具体的に検討しています。すべての職員が業務改善に活かせるように周知徹底しています。</p>	100%	0%
	8	<p>職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>朝夕のミーティングをおこない、その内容を記録しています。参加できない職員は記録を確認し情報共有しています。会議やミーティングを活用して、早急に対応ができるようにしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>ミーティング内で共有した意見を集約し、改善が必要なケースについては速やかに対応していきます。</p>	100%	0%

評価項目			はい	いいえ
	9	<p>第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか</p> <p><工夫していると思う点> 第三者評価による外部からの評価を受審して、改善に向けた具体的な対応策を検討し実施しています。良いところはさらに高め、工夫が必要なところについては、早急に対応しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 第三者評価結果は全職員で共有して、質の向上に向けて充実を図っています。改善が必要なケースについては、具体的に今後の対応について検討し、対応していきます。</p>	100%	0%
	10	<p>職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や育成室内等で研修を開催する機会が確保されているか</p> <p><工夫していると思う点> 職員の希望をもとに、計画的に研修を受講できるようにしています。研修を受けた職員は室内OJT研修の中で他職員に周知し、職員全体の学びにしています。育成室内で療育参観を実施して、支援の質の向上に向けた取り組みをしています。専門分野の研修については、WEB研修等で参加しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 今後も様々な研修に参加する中で、それぞれの学びを活かして職員間で共有して、業務改善や質の向上につなげていきます。引き続き、効果的な研修の機会を確保します。</p>	100%	0%
適切な支援の提供	11	<p>適切に支援プログラムが作成、公表されているか</p> <p><工夫していると思う点> 児童発達支援ガイドラインをもとに作成した支援プログラムをホームページで公表し、保護者がいつでも見られるように室内掲示をしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 育成室が大切にしていることや子どもたちに体験してもらいたいことすべてを網羅し、安心で安全な療育がおこなえるように支援プログラムを作成していきます。</p>	100%	0%
	12	<p>個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか</p> <p><工夫していると思う点> 共通のアセスメントシートを活用して、子どもの姿を捉えられるようにしています。子どもの強みを生かした児童発達支援計画の作成に取り組んでいます。担当職員間でケースカンファレンスを実施して、支援を共有し子ども一人ひとりに合わせた児童発達支援計画を作成しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 今後もお子さんや保護者のニーズを基に、お子さんの強みを生かした児童発達支援計画の作成に努めていきます。児童発達支援ガイドラインに基づいて、必要な支援を抽出し、より具体的でわかりやすい児童発達支援計画を作成していきます。</p>	100%	0%

評価項目		はい	いいえ	
適切な支援の提供	13	<p>児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討がおこなわれているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>定期的にケースカンファレンスを行い、支援にかかわる職員が様々な角度から子どもや家族を捉えて児童発達支援計画を作成しています。児童発達支援管理責任者が中心となり、子どもの最善の利益を考慮した児童発達支援計画の作成に取り組んでいます。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>今後も、家族や子ども自身の最善の利益を考慮した児童発達支援計画の作成をしていきます。作成した児童発達支援計画は、本人及び家族の同意を得たうえで子どもに携わるすべての職員が内容確認し、共通理解のもと支援をおこなっていきます。</p>	100%	0%
	14	<p>児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>児童発達支援計画の内容は、療育日誌やサービス提供記録に記載されており、それをもとに支援を実施しています。具体的な支援方法について、支援に携わる職員間で検討し実施・評価しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>引き続き児童発達支援計画に沿った支援がおこなえるように、PDCAサイクルを活用して支援を検討し本人及び保護者の同意に基づいて、職員が共通認識のもと療育をすすめていきます。</p>	100%	0%
	15	<p>こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>アセスメントや行動観察について、職員間で共通認識が持てるようOJTで学び合える機会をつくっています。アセスメントは多角的な視点でおこない、共有しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>引き続き多角的な視点からアセスメントがおこなえるようにしていきます。フォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントを活用して、子どもの支援を検討していきます。</p>	100%	0%
	16	<p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「地域支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p> <p><工夫していると思う点></p> <p>児童発達支援ガイドラインに基づいて、必要な支援を適切に選択し、一人ひとりに合わせた具体的な支援内容を設定しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、お子さんやご家族に適した支援を選択し、具体的な支援内容を選択していきます。児童発達支援計画につきましては、ご家族に丁寧な説明をしていきます。</p>	100%	0%

評価項目			はい	いいえ
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%
		<p><工夫していると思う点></p> <p>集団療育に携わる職員が、会議の中で意見交換をして活動プログラムを立案しています。立案した内容は、活動予定として保護者に周知できるよう一覧表で記し、掲示をしています。子どもの様子等によって随時変更をし、保護者に周知しています。</p>		
		<p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>引き続き、お子さん一人ひとりの発達を踏まえて、多職種のチームで活動プログラムを立案することで、療育内容の質を向上させていきます。</p>		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%
		<p><工夫していると思う点></p> <p>継続する活動の中にも発展があるように工夫をしています。毎月プログラムを計画していますが、子どもの様子や変化に合わせて、プログラムを変更しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>年齢やクラスの様子に応じて、繰り返し取り組む活動を計画しています。保護者の皆様にご理解いただけますよう、フィードバックの中でねらいや子どもたちの変化について説明していきます。スモールステップで活動を展開し、様々な体験ができますようプログラムを構成していきます。</p>		
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	100%	0%
		<p><工夫していると思う点></p> <p>すべての子どもに対して、集団療育と個別療育を提供しています。担当者間でケースカンファレンスをおこない、子どもの変化や成長、課題などについて情報共有をしています。療育の記録を通して、子どもの変化や支援について共有し、気づき合える工夫を取り入れています。</p>		
		<p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>引き続き集団療育担当者と個別療育担当者が共通認識をもち、連携するとともに様々な活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成していきます。</p>		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	100%	0%
		<p><工夫していると思う点></p> <p>クラスの連絡ノートを使用して、共通認識を図り支援をおこなっています。活動の流れや支援方法、職員配置、想定外のことが起こった時の対応等確認し合い、集団療育に取り組んでいます。</p>		
		<p><改善が必要だと思われる点など></p> <p>引き続き、打ち合わせの時間の確保を工夫していきます。担当以外の職員がいつでも応援に入れるように、プログラムの共有等をおこなっていきます。</p>		
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%
		<p><工夫していると思う点></p> <p>療育終了後に療育に携わった職員が、振り返りに参加できるように体制を整えています。気づいた点等は必ず記録に残し、いつでも見返せるようにしています。</p>		

評価項目		はい	いいえ
適切な支援の提供	<p><改善が必要だと思われる点など> 今後も療育終了後の振り返りの時間を工夫して確保し、すべての職員がより良い支援ができるように共有していきます。</p>		
	<p>日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</p> <p><工夫していると思う点> 療育終了後は一人ひとりの記録を残し、支援の検証、改善につなげています。支援について職員間で意見交換して、次の支援の共有をおこなっています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 職員間で検討した内容は、決定事項だけでなく決定に至るまでの過程をだれが見てもわかるように記す記録の改善をしていきます。</p>	100%	0%
	<p>定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか</p> <p><工夫していると思う点> 半年に一度はモニタリングをおこない、児童発達支援計画の見直しをおこなっています。担当職員や保護者とモニタリングをおこない、次の目標や支援の方向性について話をしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き定期的にだけでなく、変更が生じた際には保護者とモニタリングをおこない児童発達支援計画の見直しをおこなっていきます。保護者と児童発達支援計画について、話し合う機会を多くもちます。</p>	100%	0%
	<p>障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか</p> <p><工夫していると思う点> 障害児相談支援事業所とのサービス担当者会議には、児童発達審管理責任者及び集団療育担当職員が複数人参加し、関係機関との会議等参加しています。関係機関との連携は、その子どもに必要な課題の担当者も参画しています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き関係機関との会議は複数人が参画し、より良い支援につながるように体制を整えていきます。</p>	100%	0%
関係機関や保護者との連携	<p>地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか</p> <p><工夫していると思う点> 文書、訪問、情報共有のための見学等の受け入れをおこない、様々な方法の中で最適と思われる連携を実現する工夫をしています。地域の医療機関の医師に定期的に訪問してもらい、健康面でのサポートをおこなっています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 地域の医療機関と年間計画を立てて、来室しています。保護者の方が参加し有意義な時間をもてるように、事前周知を徹底するとともに相談援助につながるようにしていきます。</p>	100%	0%

評価項目			はい	いいえ
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 児童発達支援計画作成のため、併用している保育園や幼稚園に訪問し、子どもの状況の把握と情報共有をしています。それぞれの施設の役割と状況を共有し、その内容を保護者に報告して理解を得ています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 引き続き書面や対面での情報共有をおこない、連続した支援につながるように計画的におこなっていきます。保護者の方に丁寧に説明をして、地域の中で安心して生活ができるように取り組んでいきます。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 都立特別支援学校は、入学前、入学後に支援内容の情報共有を対面でおこなっています。保護者のニーズに応じて、就学支援シートを作成して、情報提供をおこなっています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 今後も保護者からのニーズに応じて、就学支援シートを活用しながらお子さんに合った支援方法についての情報提供をしていきます。		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 自室内の療育参観の場を設けて、参加職員からの意見を受けて療育の向上に努めています。児童発達支援センターが開催する講演会に参加する機会を設けています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ スーパーバイザーによる助言を受ける機会や自室職員からの意見を受けて、療育の向上を目指し取り組んでいきます。		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 通室バスを利用して、江戸川区立保育園と交流をおこなっています。3歳以上児は年4回、3歳未満児は年2回の交流に出かけ、他の子どもと活動する機会を作っています。地域保育園に向けてプール開放をしています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 引き続き通室バスを利用して江戸川区立保育園との交流を計画的におこなっていきます。その際は、事前に保護者に周知をしていきます。		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 登室・降室の際には、子どもの様子を伝え合う機会をつくっています。活動後のフィードバックは、全体の取り組みだけでなく各々の姿や課題について、伝える機会としています。		

評価項目		はい	いいえ
関係機関や保護者との連携	<p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き保護者と笑顔で挨拶を交わす、日常の子どもの様子を伝える等コミュニケーションを図っていきます。必要であれば適宜個人面談の時間を設けて、保護者の思いを伺う時間をつくっていきます。</p>		
	<p>家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修（講座・講演会等）の機会や情報提供等を行っているか</p>	100%	0%
	<p><工夫していると思う点> 春の時期にペアレント・トレーニング、冬時期にきょうだい支援について等ニーズに合わせた講演会や講座を計画し実行しています。江戸川区発達支援センター主催の研修等、送付されてきたご案内は、保護者が目に付くところに掲示して、情報提供をおこなっています。</p>		
保護者への説明責任等	<p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き育成室に送付されてきた研修等の情報は、適宜掲示やお声がけ等で保護者の皆様に周知をしていきます。</p>		
	<p>運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか</p>	100%	0%
	<p><工夫していると思う点> 運営規程や利用者負担額については、契約時に契約書の中で説明をする機会を作っています。支援プログラムは、年間通してクラスの掲示板等で記事をしています。その他、運営規程、利用者負担額については、所定の場所にファイリングし、いつでも保護者の方が手に取って閲覧できるようにしています。</p>		
	<p><改善が必要だと思われる点など> 所定の場所にファイリングしてあるものにつきましては、定期的に保護者に口頭で説明していきます。支援プログラムについては、目につくような掲示の仕方を工夫していきます。</p>		
	<p>児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか</p>	100%	0%
	<p><工夫していると思う点> 個人面談をおこない、家族や子どものニーズを把握しています。専門用語を多く取り入れずに、わかりやすい表現を使って家族の意向を確認しています。</p>		
	<p><改善が必要だと思われる点など> 引き続きお子さんや保護者の思いに寄り添った児童発達支援計画の作成に取り組んでいます。変更が生じた際には、担当職員にお申し出ください。いつでも意向を伺い変更をしていきます。</p>		
	<p>「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか</p>	100%	0%
	<p><工夫していると思う点> 児童発達支援計画の流れを示しながら、作成した計画書の説明をおこない同意を得ています。断定的な伝え方にならないよう、具体的な場面がイメージできるように説明をしています。児童発達支援計画は、各々に合わせた表現で作成しています。</p>		
	<p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き、保護者の方が必要に応じて関係機関に説明ができるように、わかりやすい表現で作成していきます。外国籍の保護者に向けては、多言語に翻訳しても伝わるような表現を用いて児童発達支援計画を作成していきます。</p>		

評価項目			はい	いいえ
保護者への説明責任等	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 保護者からの申し出に応じて、個別面談をおこなっています。悩みによっては、保護者に了解を得たうえで個別療育担当者と共有をして、誰でも相談に応じられるよう対応しています。相談を受けた際には記録に残し、担当する職員が確認できる体制を整えています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 日頃から子どもの様子を伝え合い、ご家族とのコミュニケーションを図っていきます。相談したいことがございましたら、日時を相談の上、対応いたします。必要な情報提供や助言をおこなっていきます。		
	36	保護者交流会や保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 保護者交流会はクラスだけでなく、クラス以外の保護者との交流する機会を設けています。全体保護者交流会を計画し、おこなっています。きょうだい児が参加できる行事を計画して、交流する機会をつくっています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ きょうだい同士で交流できる場を計画していきます。全体保護者交流会の機会を増やし、保護者同士のつながりをつくる機会を設けていきます。		
	37	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 相談内容に応じて日程を調整して、迅速に対応できるようにしています。相談先が適当だと判断した場合には、嘱託医への相談の場を設けています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 相談内容を聞き取り、知りたい情報や助言に合わせて、対応していきます。嘱託医の訪問日程を事前に知らせて、適宜相談できるようにしていきます。		
	38	定期的にお便り等を発行することや、HPや連絡システム等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 保護者連絡システムを利用して、毎月のおたよりや講演会のお知らせ等をしています。年間の行事計画書は、春の時期の保護者会でお配りして、丁寧な説明をしています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 引き続き、保護者連絡システムを活用して、端末を利用した情報提供に努めていきます。クラスの掲示板や事務所前の掲示板には、紙ベースで掲示し、フィードバックの時間を利用して口頭で情報提供していきます。		

評価項目			はい	いいえ
保護者への説明責任等	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか ＜工夫していると思う点＞ 個人情報を含む書類については、鍵のかかる書棚等保管場所を徹底し持ち出さないように職員に周知しています。個人情報を含む口頭でのやりとりは、部屋を準備して聞き取りを行うなど工夫しています。	100%	0%
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 引き続き、個人情報を含む書類の取り扱いについて、職員に周知徹底をしていきます。また、保護者に確認する等で持ち出す必要がある場合には、目につかないよう保護をする、取り扱う職員は声を掛け合うなど最善の注意を払っていきます。		
		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか ＜工夫していると思う点＞ イラストや簡単な表現の文字等視覚的な手掛かりを用いて、伝えています。多言語を必要とする場合には、翻訳機を使用しています。情報に応じて子どもが見える位置に掲示物を掲示するなど工夫しています。	100%	0%
非常時等の対応	40	＜改善が必要だと思われる点など＞ 引き続き掲示板だけでなく、誰もが自然と情報が目に入る位置を模索し、情報を掲示していきます。		
		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか ＜工夫していると思う点＞ 大きな行事等は、自治会や近隣小学校、第三者委員などに招待状を送付しています。夏の時期は、近隣の保育園にプール解放のお知らせを配布しています。	100%	0%
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 今後も、地域自治会や第三者委員、近隣小学校と情報共有をしながら、顔の見える関係づくりをしていきます。		
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか ＜工夫していると思う点＞ 訓練の取り組みと共に、マニュアルについて周知をしている。職員間では、マニュアルについて全体周知をする機会を設けて、熟知できるようにしています。	100%	0%
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 今後も、保護者の方がいつでも見られるように、ファイリングをして事務所前及びみんなの部屋に設置しておきます。折に触れて、保護者の方にわかりやすく説明をおこなっていきます。		
		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか ＜工夫していると思う点＞ 常にBCPを想定した訓練を実施し、全ての職員が携わり避難、救出をおこなえるような訓練に取り組んでいます。年に一度は、近隣の消防署と連携した訓練を実施して、保護者の消火訓練等を実施しています。	100%	0%
非常時等の対応	42	＜改善が必要だと思われる点など＞ 定期的に様々な避難方法を子どもや保護者の皆様が体験することで、実際の災害に直面した時に、ご自身の安全が守られるように、今後も多様な状況に対応する訓練内容を実施していきます。		

評価項目		はい	いいえ
非常時等の対応	<div>44</div> <div> <p>事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか</p> <p><工夫していると思う点> 入室時の面談にて、提出書類を確認しながら聞き取りをおこなっています。変更が生じた際には、その都度書類をもとに確認をしながら聞き取りをしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 健康状況票の記載内容に変更が生じた際には、速やかに申し出をしていただき保護者の方と面談にて丁寧な聞き取りをおこないます。家庭状況票及び健康状況票等には、常にお子さんの健康状態について最新の状況を記録しておくことで、安心安全な療育を提供していきます。</p> </div>	100%	0%
	<div>45</div> <div> <p>食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p> <p><工夫していると思う点> 医師の指示書に基づいて、保護者と面談にて確認をおこない、対応しています。提供が異なる場合には、トレーを使用して誰でも確認ができるようにしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き、医師の指示書をもとにわかりやすい表記の札を準備して、携わる職員が対応がわかるようにしていきます。トレーを引き続き使用して、間違いがないように声を掛け合って対応していきます。</p> </div>	100%	0%
	<div>46</div> <div> <p>安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか</p> <p><工夫していると思う点> 安全計画を作成して、計画書をもとに訓練や研修が受けられるように工夫をしています。日々のヒヤリハットについては、ミーティング内で起こりうる危険について共有して、職員の意識向上につなげています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 安全計画作成において計画した訓練や研修を定期的実施して、職員が対応について熟知し支援がおこなえるようにしていきます。</p> </div>	100%	0%
	<div>47</div> <div> <p>こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか</p> <p><工夫していると思う点> 家庭内でのヒヤリハットを共有して、具体的な防止対策等を一緒に検討し、実行ができるように支援しています。年に一回災害時伝言ダイヤルの体験を実施することで、安全確保の対応について周知する機会としています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 安全計画は、クラス掲示板や廊下等目につく場所に掲示して、いつでも見られるようにしています。引き続き、非常災害訓練等実施の際には、保護者にわかりやすく説明していきます。</p> </div>	100%	0%
	<div>48</div> <div> <p>ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか</p> <p><工夫していると思う点> ミーティングでヒヤリハット事例を共有して確認することで、職員の意識向上につなげています。年に数回ヒヤリハット事例の取りまとめをおこない、起こりやすい時期、時間帯、場所等について分析をおこない再発防止に向けて検討しています。</p> </div>	100%	0%

評価項目		はい	いいえ
非常時等の対応	<p><改善が必要だと思われる点など> ヒヤリハットで共有した事案については、分析するだけでなく必要に応じて対策を講じることを大切にしています。事故に繋げないために、振り返りをおこない、その内容は職員全体で周知していきます。</p>		
	<p>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか</p> <p><工夫していると思う点> 毎月の職員会議内で、意見交換するなどして虐待への意識づけをしています。外部研修やOJT、e-ラーニング等を受講し、職員一人ひとりが適切な対応がおこなえるようにしています。</p>	100%	0%
	<p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き、フィードバックの中で確認した内容を月ごとにまとめて、職員間で共有していきます。不適切な対応について未然に防げるように、研修を計画しクラスごと又は職員全体で取り組んでいきます。</p>		
	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p> <p><工夫していると思う点> 身体を拘束しない支援の方法について、児童発達支援管理責任者を中心に職員間で日常的に話し合いをしています。</p> <p><改善が必要だと思われる点など> 引き続き、身体を拘束しない支援方法について職員間で検討し共有していきます。子どもの意思を確認しながら、かわりがもてるようにしていきます。</p>	100%	0%